

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
令和4年度 第1回研究倫理審査委員会（安全分野） 議事要旨

開催日時：2022年7月28日（木） 14時00分～16時00分

開催場所：ハイブリッド（現地およびWeb）開催

現地会場：労働安全衛生総合研究所（清瀬地区） 本部棟3階 第1会議室
〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-4-6

Web会場：Zoom ミーティング

出席者：酒井一博委員長、櫻井忠義委員、畠中順子委員、松原健一委員、河野昌子委員（代理：高田委員）、
濱島京子委員、佐藤嘉彦委員

事務局：日野泰道、清水尚憲、菅間敦

オブザーバー：梅崎重夫 所長（代理：大幢勝利 研究推進・国際センター長）

配布資料

1. 開会挨拶

2. 利益相反：新規申請の確認、および利益相反自己申告書の確認結果の報告

- 利益相反の新規申請が提出期限までになかったことが、事務局より報告された。
- 清瀬地区研究員が提出した利益相反自己申告書について、問題となる申告がないことが事務局より報告された。

3. 研究倫理審査：迅速審査結果の承認

- 前回の委員会以降に申請のあった迅速審査1件（受付番号 R4-安1：トラック荷台昇降動作と下肢筋力の関係、申請者：大西明宏）について、事務局より研究概要と審査結果の説明がなされた。審査結果が「条件付きで承認」として通知済みであることが報告され、異議なく承認された。

4. 研究倫理審査：新規申請の審査

- 下記の新規申請2件について審査が行われ、2件とも「条件付きで承認」とすることで全員一致した。
受付番号 R4-安2：発揮力の大きさが作業姿勢や姿勢安定性に与える影響の評価、申請者：平内和樹
受付番号 R4-安3：作業動作の特徴抽出に基づく姿勢安定性の評価、申請者：平内和樹
- 「受付番号 R4-安2：発揮力の大きさが作業姿勢や姿勢安定性に与える影響の評価」について、委員の指摘に基づいて研究計画および説明資料を修正するという条件のもと、全員一致で本申請を承認された。指摘事項は、下記の通りまとめられた。
 - 最大発揮力を測定する方法と、そのリスクの程度について追記すること。また、本試行として最大発揮力を測定するよう、実験プロトコルの変更を検討すること。
 - 最大発揮力の測定方法に関して、研究対象者への教示方法を説明資料に追記すること。

- 足場板の傾斜方向や寸法を研究計画書へ追記すること。また、研究対象者への説明資料の中にも足場の図を追加すること。
 - 測定装置やハンドル部のサイズを研究計画書へ追記すること。
 - おおよその試行回数を研究対象者に説明する方法について検討すること。
 - 実験時に着用する衣類の用意と好ましい服装について説明資料に記載すること。また靴下を持参するように明記すること。
 - 実験当日に、研究所内で着替えを行うことと、履物を安全靴に履き替えることについて説明資料に追記すること。
 - 靴のサイズと利き手について事前に確認するプロセスを記載すること。
- 「受付番号 R4-安3：作業動作の特徴抽出に基づく姿勢安定性の評価」について、委員の指摘に基づいて研究計画および説明資料を修正するという条件のもと、全員一致で本申請を承認された。指摘事項は、下記の通りまとめられた。
 - 研究対象者のリクルート基準について、手指や足について痛みのある人は除外するなどの基準を設けること。
 - 荷物を持ち上げるタイミングや持ち方について研究計画書へ説明を追加すること。また動作中のリスクについて研究計画書内で言及した上で、リスクの見積り・評価を行うこと。
 - 荷物の設置位置や試行時間などを決めた上で、健康リスクや負傷の可能性について評価すること。
 - 1回の試行の流れと、全体の作業量について、研究計画書および研究対象者への説明資料中に追記すること。
 - 研究対象者への説明資料において、作業手順に関する説明を充実させること。
 - 発揮力の条件をどのように設定するか追記すること。また、実施予定である最大発揮力 50%での押し引き作業時のリスクについて、関連研究や予備調査、過去の実験データ等を判断材料としながら安全・健康面への影響について説明すること。
 - 足場板の傾斜方向や寸法について研究計画書へ追記すること。また、研究対象者への説明資料の中でも図を用いるなどして理解しやすくすること。
 - すっぽ抜け発生時の加速度による首のむち打ちなどの健康影響について検討すること。
 - 主観評価の記録様式について左右の上肢を別々に記録できるようにすること。
 - 研究対象者の体格の記録用紙について、研究計画書と記入欄が対応するよう修正すること。
 - おおよその試行回数を研究対象者に説明する方法について検討すること。
 - 実験時に着用する衣類の用意と好ましい服装について説明資料に記載すること。また靴下を持参するように明記すること。
 - 実験当日に、研究所内で着替えを行うことと、履物を安全靴に履き替えることについて説明資料に追記すること。
 - 靴のサイズと利き手について事前に確認するプロセスを記載すること。

5. その他の議題、事務連絡等

- 迅速審査の手続き簡略化、課題番号付与ルールの整備について事務局より報告があった。

- 次回予定について事務局より連絡された。

6. 委員長総括

酒井委員長が総括を行った。

以上